

公表 保育所等訪問支援事業所における自己評価結果

事業所名		鈴鹿市第1療育センター					公表日	令和 8 年 2 月 25 日
		チェック項目	はい	いいえ	わからない	工夫していると思う点	課題や改善すべき点	
環境・運営・体制	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	11	2			・訪問支援において、こちらが教材を準備することはあまりない。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	12	1			・希望が多い月は足りないと感じることがある。 ・他事業と兼務になるため、余裕はない。	
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	11	2		・児童発達支援管理責任者を中心に振り返りを行っている。		
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13			・全体共有が出来ている。		
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13			・児童発達支援管理責任者が中心となり、意見を聞き、必要に応じて、業務改善につなげている。 ・会議等、意見を述べられる場がある。		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	7		・アンケートを依頼している。 ・回収率を上げるために事前に電話をしてアンケートの記入をお願いしている。	・アンケートのみであり、意見交換できる場がない。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	11	1		・研修案内が周知され、希望に沿って参加できるようになっている。 ・年間の研修計画が組まれている。		
適切な支援の提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	13			・担当者間でも打ち合わせを行い、ニーズに応じた支援計画を作成している。		
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	13			・児童発達支援管理責任者が、課題に応じて職員を調整し協議している。		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	13			・ご意見をいただいた場合は、変更や修正をしている。		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	13			・職員間で共有し、必要に応じて児童発達支援事業等にも活かしている。		
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	13					
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	12		1	・基本的にはガイドラインに沿って設定している。	・変更がないか、チェックする必要がある。	
	14	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	12		1	・多職種の2名以上で訪問し、それぞれの視点で話をしたり、保護者様への報告も行っている。		
	15	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	13			・終了後、なるべく早くに話し合い、報告書に反映している。		
	16	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	13			・事前訪問の際に、注意点などを確認している。 ・初めて訪問する際は、ホームページなどを確認している。		
	17	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	12	1		・報告書を作成している。なお、作成の際、担当者間で振り返りを行い、今後につながるよう意識している。		
18	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	13			・相談支援専門員等と連携し、頻度や必要性を見極めさせていただいている。			
19	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	13			・対象児と関わりのある職員が参画できるよう調整している。 ・関わりのない対象児に関しては、ニーズを確認し訪問支援員を調整している。			

		チェック項目	はい	いいえ	わからない	工夫していると思う点	課題や改善すべき点
関係機関や保護者との連携	20	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	13			・保育園、幼稚園、小学校等の先生を対象とした研修会を実施し、連携しやすい体制を目指している。	
	21	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	13			・保護者様からの依頼により、引き継ぎ会に参加している。	
	22	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	12	1		・外部研修に参加できる機会が多い。	・研修参加については、職員の希望に委ねられている部分がある。
	23	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	9	3	1	・担当を決め参加している。	・参加する職員が固定化されているので、わかりにくい。
	24	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	13			・保護者様から聞き取りを行い、家庭の様子等を確認している。	
	25	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	6		・児童発達支援のみ行っている。	・研修の機会を作ることは難しいが、必要に応じて情報提供を行っていきたい。
	26	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	13			・丁寧な説明を心掛けている。	
保護者等への説明等	27	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	13			・特に訪問先の代表者に変更があった場合や、初めての訪問先に対して丁寧に説明している。	
	28	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	13			・アセスメント時において意向を確認している。	
	29	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	13			・説明を行い、同意を得ている。	
	30	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	13			・必要に応じて、相談に対応している。	
	31	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	11			・保護者様同士が交流する場は設けておらず、地域の集まりや交流の機会について情報提供にとどまっている。
	32	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	13			・保護者様のご都合を踏まえ、相談日を設定している。	
	33	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	11	2		・当事業に限定していないが、センターの取り組み等を、定期的にSNSで情報発信している。	・保育所等訪問支援のことを知ってもらう機会を作れると良いと思う。
	34	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	13			・コンプライアンス旬間を設けるなど、定期的に意識する機会がある。	
35	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	13			・カードや写真等の視覚的な支援を行っている。 ・お子さまの非言語的なサインを大切にしている。	・配慮はしているものの、相談室の確保に課題がある。	
36	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	13			・相談内容に対応できるよう、職員を調整している。		
訪問先施設への説明等	37	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	11	2		・訪問先のご都合にもよるが、訪問日に行うようにしている。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	13			・報告書を渡すだけでなく、補足説明を行っている。	
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	13			・コンプライアンス旬間を設けるなど、定期的に意識する機会がある。	
	40	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	13			・椅子の高さや、車いすの状況なども専門的な視点で助言等をしている。	・相談というよりも観察させていただいた上で情報を共有していることが多い。(保護者様からの依頼で訪問することが多いため。)
	41	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	3			・防犯マニュアルがあるかわかりません。 ・児童発達支援のみ訓練を行っている。

		チェック項目	はい	いいえ	わからない	工夫していると思う点	課題や改善すべき点
非常時等の対応	42	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	12	1		・年度当初に安全計画について共有し、その上で支援が行われている。	
	43	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	13			・朝礼や療育会議にて共有し、再発防止に向けて話し合いをしている。	
	44	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	12	1		・必ず実施しており、参加できなかった職員については、後日動画により内容を確認できる体制としている。	・研修は個人参加。
	45	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、保育所等訪問支援計画に記載しているか。	9	4			・身体拘束を行うことがない。 ・身体拘束のケースがない。